

# SUPPORTERS

サポーターズ

No.158 2021 秋号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ

<http://ypta.jp/>

会員数 933名 施設数 144 (R3.8.24 現在)

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。

### 会報部より

令和3年5月23日に前会長の小林伸一先生が急逝されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福を祈念いたします。小林伸一先生の御遺徳を偲び、感謝の誠を捧げ、その御遺志が活かされるよう努力する覚悟を新たにしております。当会が益々発展し一人でも多くの人を助け、併せて会員と県民の皆様が益々ご健康、ご多幸でありますよう祈念いたします。



## CONTENTS

新会長挨拶と小林伸一先生への追悼の辞	2
定期総会報告	3
第3回山梨県リハビリテーション専門職 合同学術大会を終えて	4~5
一般社団法人山梨県理学療法士会 創立50周年に向けて	6~7

活動報告	8~10
●COVID-19 対策委員会 ●地域連携部	
●スポーツ理学療法部	
●訪問理学療法委員会	
●学術研修部	
お知らせ ●事務管理局	10~11
リレーエッセイ Part40	12~13
原稿募集	12
編集後記	13

## 追悼の辞

## 小林伸一先生への

## 新会長挨拶と



一般社団法人山梨県理学療法士会  
会長 磯野賢  
甲州リハビリテーション病院

皆さんこんにちは 山梨県理学療法士会会長の磯野賢です。小林伸一前会長から6月に会長職を引き継ぎました。ご存じの通り、小林前会長は、本年5月23日逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

小林先生は、私が30年前、親類縁者誰もいない山梨に来た時から同じ学校の出身というだけで親身になって面倒を見ていただきました。また、先輩後輩の関係の中で先輩の言うことは絶対という時代でしたが若造の意見も大きな心で受け入れていただきました。県士会の関係では、入会直後から先生が厚生部部長（宴会部長）をされていた関係で手伝うように言われて関わり始めました。それから、先生が県士会30周年実行委員長の時には私は事務局長を、協会の全国研修会を大会長として開催されたときには、私は準備委員長として、法人化し県士会長となられた時には副会長として、いつも近くで支えていたつもりでいました。いまは、支えられ育てていただいていたのは自分だと痛感し、この場をお借りしまして感謝申し上げます。先生の周りにはたくさん人が集まってきて、いつも楽しそうにしていました。しかし、新型コロナの影響で会うことも叶わず、逝ってしまわれた先生。理学療法士としての大先輩であり、山梨県理学療法士会を愛し、長く中心で引っ張って来られた功績に対しまして会を代表し衷心より御礼申し上げますとともに、役員一同会を更に発展させていきますことをお誓いして、追悼の言葉といたします。

最後になりましたが、新会長としてご挨拶、お願いを申し上げます。県士会はこの7月に50周年を迎えました。この先の50年を図り知ることはできません。もっと身近に10年先のあるべき姿、5年先の目標、3年先までの計画が必要なのだと思います。計画の実行において一番重要なのが会員の皆さんの参加です。それがなければ会として意味を成しません。会は一人一人の会員のためにあると同時にみんなで作る会です。そして力を合わせて県民のために。人に必要とされるからこそ専門職として、また会として存在意義があるのだと思います。前会長の意思を受け継ぎ、皆さんのご協力をいただきながら引き継いだ任期を全うできるよう精一杯努めてまいりますので宜しくごお願い致します。

令和3年度 一般社団法人山梨県理学療法士会

## 定期総会報告

令和3年6月14日（月）に行われた、一般社団法人山梨県理学療法士会 令和3年度定期総会についてご報告いたします。

### 1、総会に先立ち磯野会長就任の報告

令和3年5月23日に小林伸一前会長が急逝いたしました。それを受け、6月3日に理事会を開催し、後任の代表理事すなわち当士会長について審議を行いました。

会長の選出は理事会の決議によって、理事の中から選出することとなっており（定款第28条2項）、審議の結果、磯野賢副会長が後任の会長に就任したことが報告されました。

### 2、定足数の報告、出席者・委任状について

6月1日現在、正会員数887名に対して

- ・出席者数28名（うちオンライン参加23名）
- ・委任状数520名

よって、定款第21条に則り総会は成立いたしました。

### 3、議事

提案されたすべての議事については、承認されました。

### 4、その他

山梨県理学療法士会創立50周年記念事業について報告（三科実行委員長）

山梨県理学療法士会は今年創立50周年となります。これを記念して10月23日（土）に記念講演、記念式典および記念誌の発行を行うこととなりました。未だに COVID-19の感染状況が落ち着かないため、Zoomを利用したハイブリッド形式で行われます。

記念事業の成功に向けて、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

本年度の総会も COVID-19感染拡大のため、会員の皆様には総会への参加の自粛と書面による決議権の行使をお願いしながら、必要最小限のスタッフは会場である事務所にて、そのほかの執行部役員はオンラインでの参加になりました。また今年は、オンラインでの視聴も可能にしました。理事、監事の役員以外の先生方の視聴もありました。定期総会議事録については、当士会 HP に掲載してありますので、併せてご覧ください。

小林伸一前会長急逝に伴い、委任状の再提出のお願いなど会員の皆様にはお手数をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで無事総会を開催することができました。ありがとうございました。

事務管理局 局長 有泉 静佳  
(山梨県立あけぼの医療福祉センター)

## 第3回山梨県リハビリテーション

山梨県リハビリテーション専門職団体協議会  
会長 磯野 賢

甲州リハビリテーション病院

小林伸一大会長のもと、第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学会大会が開催されました。当日一年越しでご講演いただきました特別講演の神戸大学大学院保健学研究科 パブリックヘルス領域 教授 石川 朗先生、畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター 教授 森岡 周先生、また、教育講演をいただきました甲州リハビリテーション病院 佐藤 吉沖先生をはじめご講演いただいた皆様、そして、開催に向け準備いただきました菊池実行委員長をはじめ運営委員会の皆様、ご参加いただきました皆様、すべての会員の皆様に改めて御礼申し上げます。

第三回となる本大会は、理学療法士会が担当し、開催する運びとなりましたが、本来開催する予定であった昨年度はコロナの影響を受け延期となりました。今年度は、コロナの影響で社会情勢がどのようなになっているかわからない中でも開催できるようにということで準備を進めてきましたが、そうは言っても完全Webにするのか、ハイブリッドで行うのかは最後まで迷ったところでした。そして何よりも大きかった大会長の突然の逝去。大会長をどうするのか、大会長講演は等々。副大会長の作業療法士会山本伸一会長、言語聴覚士会内山量史会長にもご相談させていただき、みんなの思いとして大会長は小林大会長そのままで行くことが決まり開催されました。

結束・垣根を低くして・手を取り合って。本当に小林大会長からよく聞いていた言葉で、「みんなのできることは、手を取り合って、みんなですればいい」リハビリテーション専門職団体協議会の理念ともいうべき思いが今回の大会を成功に導いたものと考えております。

小林大会長ご自身、体調のすぐれない中でも、この大会の開催を心配されていたので、成功裏に終わることが出来ましたと報告させていただきます。

次回は作業療法士会の担当で3年後開催されます。また、みなさんそこでお会いしましょう。



## 専門職合同学会を終えて

合同学会委員会実行委員会  
菊池 信

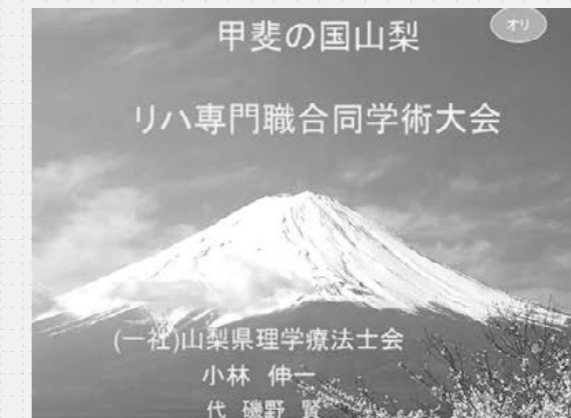
山梨リハビリテーション病院

2021年7月4日、日曜日に第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学会大会がオンラインで開催されました。参加者290名(PT144名、内県外1名、OT87名、ST59名、内県外1名)でした。この学会は3年に1度開催される学会であり、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会主催で開催されます。協議会の運営幹事はPT、OT、STの中で持ち回り制となっており、今年度はPT県士会が担当になります。それに伴い合同学会も持ち回りで運営を担当しています(第1回はOT、第2回はSTが運営担当でした)。

今回も2019年2月より準備を開始し、1年10か月後の2020年12月開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により延期を余儀なくされました。また対面形式での開催を取りやめ、完全オンライン形式での開催へと方針転換をしていくこととなりました。

延期を決定した当時は、先が見えない状況のため、いつ開催するのか、対面形式とオンライン形式のハイブリッド開催にすべきか等、色々と難しい判断を迫られる場面が多々ありましたが、多くの方々の助けを借りながら、運営委員の皆さんと熟慮を重ねることで何とか乗り越えてきました。私見ですが、コロナ禍での学会運営は準備や問題、課題をいかに想起し対応できるかにかかっていると思われまます。これまで何回か学会運営に携わってまいりましたが、今後の動向が不透明なことや、初めてのオンライン形式での開催であるということにより、事前の課題はこれまでよりもたくさんありましたが、何とか成功裏に終わることができました。演者で発表された皆様、裏方で働いてくださった皆様、参加して下さった皆様、円滑な大会の運営にご協力くださりまして、どうもありがとうございました。

結びに、この大会を誰よりも成功させたいと願っていた小林伸一大会長ですが、開催前のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げるとともに、生前のご厚誼に対し、この場をお借りして御礼を申し上げます。



一般社団法人  
山梨県理学療法士会

Yamanashi Physiotherapist Association 50th Anniversary

# 創立50周年に向けて

本士会は2021年7月に創立50周年を迎え、10月23日（土曜日）には記念講演、記念式典を寂々たる中にも盛大に行うべく準備をしております。変異株の出現でコロナ禍の終息が一向に見えない社会情勢の中、残念ながら本来予定しておりました祝賀会は中止し、会員の皆様方にも当日はオンラインにて参加していただく予定となっております。

本記念事業はテーマとして「半世紀先を見据えて～今までとそしてこれからと～」掲げております。半世紀前、わずか数名で立ち上げた本士会も会員数で見れば1,000人に手が届くところまで発展してまいりました。「リハビリテーション」「理学療法士」という、今では誰もが知っているキーワードも当時は、「は？何それ？」という医療職仲間においても無関心な反応であったと聞いております。

本士会の黎明期においては県民への「理学療法とは何か」の啓蒙・啓発からその活動は始まり、手探りで「理学療法士の社会的地位の確立」を行わなければ（強いて言うならば活動の資金集めさえも…）ならなかった先輩諸氏の汗と苦勞を、少しでも知る我々世代は次の半世紀を担う若い世代へ語り継ぐ義務があると思います。

そして現在、世界的に再生医療・神経工学・ニューロリハビリテーション等めざましい発展を遂げています。医学とデジタルテクノロジーの進化にいかに対応していくか俯瞰的な視点で理学療法のあり方を考えなくてはならないこの時、国内では団塊の世代の方たちが全て後期高齢者へ突入する「2025年問題」を抱えています。

半世紀前には予想さえしなかった、病院から地域へ、障害回復から予防事業へと大きく業務形態も変革を求められる中で、半世紀先の「理学療法士の社会的地位の確立」のためにまさに今土台を固めることができるか、本記念事業をとおして次世代の本士会を担う若い会員の方たちと考えるきっかけになればと切に願っております。

当日は多くの会員の方に参加していただきたく諸事情があるかとは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

山梨県理学療法士会創立50周年記念事業実行委員会

委員長 三科 貴博

(健康科学大学)



Information

## お知らせ

はじめに、本事業の相談役の1人でもあり、常に気にかけて、様々なご助言をくださった小林伸一前会長のご冥福を祈念いたします。本事業を最後まで見守ってください。

当士会は今年創立50周年という節目の年を迎えます。今回その記念事業として、下記の通り記念講演、記念式典を開催いたします。

この記念事業を開催するにあたって、昨年8月より実行委員会を発足し、三科実行委員長を中心に準備を進めてまいりました。これまでも多くの方々のご支援やご協力に深く感謝いたします。

また今回は昨年から続くコロナ禍の影響もあり、開催方法など日々変化する社会情勢と併せて柔軟な対応が求められました。その中で開催方法については、記念講演、記念式典ともに、一部を除き（役員および来賓者）ライブ配信での開催という形をとらせていただくことになりました。本来であれば祝賀会も開催する予定でしたが、感染拡大予防のため執り行わない運びとなりました。ご理解いただきたく存じます。

ライブ配信という形にはなりましたが、記念講演においては、テレビドラマ等で話題となった「左手1本のシュート」のモデルとなりました、田中正幸氏をお招きし、その半生について、また現在チャレンジしているパラ競技の水泳についてなど本事業のテーマに沿った未来に向けたお話もお聞きできると思います。また、記念式典においてもご来賓祝辞、各先生方のご挨拶、また表彰式など、多様なプログラムを予定しております。

この創立50周年を迎えるにあたり、これまで築き上げていただいた先人の方々への感謝と、今後50年の更なる発展を目指す機運を醸成するため、多くの皆様方のご参加とご協力ご支援のほど、よろしく願いいたします。

山梨県理学療法士会創立50周年記念事業実行委員会

事務局長 小林 正樹

(株式会社 山梨福祉総研(かのみ))  
:masaki@kai-reha.jp

### 開催概要

名称：山梨県理学療法士会 創立50周年記念事業

テーマ：半世紀先を見据えて～今までとそしてこれからと～

日時：令和3年10月23日（土）

記念講演 13:30～14:30 記念式典 15:00～16:00

会場：APIO 甲府（ライブ配信にて行います）

また創立50周年記念誌の発刊も来年1月を予定しております。病院・施設紹介のため、SNSを利用し会員皆様の画像・動画を募集いたします。

詳細は左のページのQRコードより「創立50周年記念事業実行委員会」のFacebook・Twitterでご確認下さい。会員皆様と一緒に作り上げたいと思っております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 各部活動報告

## COVID-19 対策委員会

### BCP (事業継続計画) について

今回は「BCP」をテーマに災害への対応準備についてお伝えします。BCPとはBusiness Continuity Planの略称で、事業継続計画などと訳されます。

BCPは災害等の不測の事態が発生した際に重要な事業を中断させない、または中断しても出来るだけ早期に復旧させるための方針、体制、手順を示した計画で、日々の対策や予防を目的とした業務マニュアルとは異なります。COVID-19のような新興感染症と自然災害との大きな違いは被害対象、期間、制御方法です(表1)。

表1: 介護施設、事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の事業継続ガイドライン 厚生労働省資料 2020/12  
新型コロナウイルス感染症発生時の事業継続の考え方  
(厚生労働省「事業所・施設における新型コロナウイルス感染症発生時の対応」に追加)

項目	地震災害	新型コロナウイルス感染症
事業継続方針	○できる限り事業の継続・早期復旧を図る ○サービス形態を変更して事業を継続	○感染防止、社会的責任、経営も兼ね、事業継続の意思も決める
被害の対策	○主として、施設・設備等、社会インフラへの被害が大きい	○主として、人への健康被害が大きい
地理的・人的影響範囲	○被害が地域的・局所的 (行政区域での線量や物理的被害の範囲が限定)	○被害が国内全域、全世界となる (行政区域での線量や物理的被害の範囲が不確定)
被害の期間	○過去事例等からある程度の影響想定が可能	○長期化する恐れがあるが、不確実性が強く影響が異なる
被害発生と被害制御	○主に自然災害に起因する ○被害発生は事業の制御不可	○海外で発生した場合は、国内発生までの間、事業が可能な ○被害発生は感染の防止に注力される
事業への影響	○事業を再開すれば影響は軽減される	○事業再開等では長期にわたる被害が減少し、業務復旧が難しい

表2: 当院におけるBCP (R3.7.1現在)

優先度	業務区分	被害対象
A (高い)	救急医療	●職員・患者及び要介護者が全体の70%以上で感染した場合の全業務停止 ●院内感染防止下にて診療継続の必要は一人当たりの患者は長時間を半減 ●一人当たり1時間以内)までとする ●重要業務は外部へ委託可能な場合は、業務へのケアを行う。
B (中程度)	救急医療	●職員・患者及び要介護者が全体の70%以上で感染した場合に診療継続 ●必要に応じて職員が業務停止となった場合は業務停止の対応は緊急時を除く
C (低い)	救急医療	●下記の発生当日の対応が適切に行われ、職員の安全が確保され次第、通常診療を再開 ●行動制限解除や患者リストの作成等ICT活用下 ●患者(家族)・施設内への感染等ICT活用下
Etc	コロナより 軽微な感染 する期間	●業務の再開 ●治療可能な職員による患者リスト、ソフト作成 ●治療継続の意思 ●施設内の感染へのメンタルケア

作成の際には①被害の主対象である人への感染拡大防止と事業継続に必要な人員の確保策、②予測できない事例や被害の長期化も視野に入れた柔軟かつ的確な判断基準、③業務を細分化し、優先順位と役割分担の明確化を図る、などが重要です(表2)。

BCPは、作成するだけではなく、最新の情報へ常に更新し、病院幹部やリハスタッフにも内容を周知すること、平時からコミュニケーション訓練を行うことで実効性が高まります。

★ お問い合わせ先: COVID-19 対策委員会 委員長 雨宮直樹 (山梨県立中央病院: amemiya-agve@ych.pref.yamanashi.jp)

## 地域連携部

令和3年3月26日に「地域連携研修会」を開催しました。Zoomを用いたオンライン研修会となり、(機材・通信)トラブル無く執り行えました。テーマを「コロナ禍により低下した生活能力を高めるために～通所リハビリテーションの事例より～」とし、講師を石和共立病院在宅リハビリテーション室 室長 柴田 佳介先生に務めていただきました。

研修内容は講義(コロナ禍における地域住民の状況、身体機能低下の実例)、グループワーク(コロナ禍により低下した能力を高める為に出来る事とは?)を行いました。参加者全体で現状を共有し、グループワークとその発表を通じて「今、理学療法士として何をすべきか?」という点について、知恵を出し合い、これも共有しました。

今回の研修を通じ、世の中がこのような状況であるからこそ自己研鑽に励む事が大切であると感じました。今、何を、どのように学べるか・伝えられるか。みんなで切磋琢磨できると良いと思います。

★ お問い合わせ先: 福利厚生局 地域連携部 部長 原 啓太 (やまなし勤労者福祉会 共立介護福祉センターいけだ: k-hara@yamanashi-min.jp)

## スポーツ理学療法部



スポーツ理学療法部は理学療法の知識や技術を提供し、県内スポーツに貢献することを目的に活動を行っております。その内容は①各種競技大会での活動、②チームに介入しての活動、③教育研修活動です。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、活動制限を余儀なくされました。本年度はスポーツ現場からの熱い要望に応えるべく、感染対策には十分留意しながらできる範囲での活動を行っています。現在チーム介入活動はサッカー、バレー、柔道、野球の7チームに対応、

教育研修活動は月2回のリモートによる部内研修の実施を行っております。本年度に入り国際テニス大会他、競技大会からの要請はありましたが対外活動が可能な部員が少なく人員不足のため対応できませんでした。活動するにはやはり多くの仲間が必要と改めて感じております。山梨のスポーツを盛り上げるべく一緒にスポーツ理学療法部で活動してみませんか。興味がある先生はお気軽に声をかけていただきたいと思います。

★ お問い合わせ先: 社会局スポーツ理学療法部 部長 小林 幸一郎 (山梨大学医学部附属病院: kokobayashi@yamanashi.ac.jp)

## 訪問理学療法委員会

今年度、訪問理学療法委員会は新たに2名の先生を迎え訪問リハビリテーションの質の向上と普及を目的に活動を開始しています。主に、リハビリテーション専門職団体協議会の訪問リハビリテーション委員会に参加し活動を行っています。



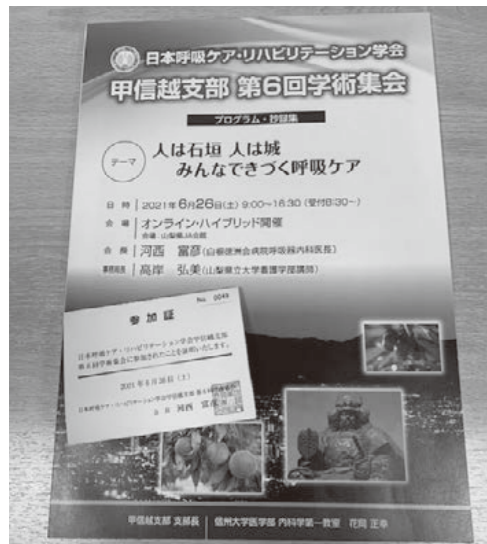
今年度の介護報酬改定は、訪問看護からのリハビリテーション料の見直し。事業所医師との関わりが重要になるリハビリテーション会議、訪問リハビリテーション計画に係る未診療へのペナルティの強化、科学的介護推進のためのデータ提出等、在宅リハビリテーションの質が問われる改定となりました。

そこで、今年度は①介護報酬改定に伴う影響や、山梨県内の実情を収集するためのアンケート調査の実施。②生活期リハビリテーション研修会(在宅における感染対策等を検討中)③家屋調査研修会(PTOTSTバンク委託事業)の3事業の活動を予定しております。

会員の先生方のご参加により、より良い在宅リハビリテーションが提供できるようご協力をお願いいたします。

★ お問い合わせ先: 訪問リハビリテーション委員会 柴田 佳介 (石和共立病院: k-shibata@ga.yamanashi-min.jp)

## 学術研修部



帝京科学大学 新永 拓

今年度も学術研修局では全4回の学術研修会の開催準備を取り進めております。現在、教育現場における授業や企業・団体が主催する講習会は、社会情勢の変化に応じて開催方法を「オンライン形式」、オンラインと会場参加が可能な「ハイブリッド形式」など様々な形式で開催されています。

さて、私自身のお話をさせていただきますが、6月26日に山梨県で開催された「日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 甲信越支部 第6回学術集会」に参加しました。大会テーマは『人は石垣 人は城 みんなできづく呼吸ケア』で、多職種チームの活動を焦点とした特別講演をはじめ、セミナーや一般演題発表がハイブリット形式で行われ、大変興味深い内容ばかりでした。

また、臨床現場における呼吸ケアでの気付きに繋がる知見や研究活動に繋がるヒントを得ることができました。改めて、呼吸理学療法を実施する者として、日々の知識や技術を構築していくことの重要性を感じました。

★ お問い合わせ先：学術研修局 学術研修部 渡邊 修司  
(帝京科学大学：yptgkensyubu@gmail.com)

## お知らせ Information

### 事務管理局からのお知らせ

#### ◆ (公社) 日本理学療法士協会の手続について

##### ・ 会員情報の変更手続き(異動、休会、退会、会費納入方法等)

(公社)日本理学療法士協会HPの【マイページ】→【会員管理】から手続きを行ってください。

##### ・ 年会費割引制度のご案内

(公社)日本理学療法士協会には年会費の「育児休業割引」、「シニア割引」、「海外会員割引」があります。

詳細は(公社)日本理学療法士協会HP

【理学療法士向けサイト】→【協会からのお知らせ】→【各種手続】→【年会費納入に関する申請一覧】

をご確認ください。

年会費割引申請手続も【マイページ】→【会員管理】→【会員割引申請】からとなります。

【マイページ】にアクセスするには、協会が各個人に発行したIDとパスワードが必要です。

「IDやパスワードがわからない」、「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。

(公社)日本理学療法士協会 TEL:03-5843-1747

会員情報につきましては、(公社)日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理しています。県士会単位では対応できません。

#### ◆ 山梨県理学療法会のお知らせ

##### ・ 会員の慶弔があった場合について

一般社団法人山梨県理学療法士会 慶弔規定に基づき対応いたします。

山梨県士会HPの【お問い合わせ】→【会員慶事通知フォーム】→【会員弔事通知フォーム】からお願いします。

\*慶弔規定は【会員慶事通知フォーム】内にあります。

##### ・ 事務管理局への問い合わせについて

山梨県士会HPの【お問い合わせ】→【事務管理局メールフォーム】からお願いいたします。

\*インターネット環境がない会員の方は、  
山梨県立あけぼの医療福祉センター 療法科内 担当 有泉  
TEL:0551-22-6112(療法科直通) までお願いします。

##### ・ メール配信について、アドレス登録のお願い

士会では研修会の通知や情報提供をメール配信にて行っています。

会員の皆様には、アドレス登録についてご協力いただきますようお願いいたします。

・ 登録メールアドレスは1会員1アドレスでお願いします。

・ 一度登録したアドレスを変更する場合は、登録解除フォームにて登録メールを解除後に、新しいアドレスを登録しなおしてください。

#### メール登録フォームURL:

<http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrrwtLaiOgzf>



#### 登録メール解除フォームURL:

<http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrrwtLaiOgzf>



#### \* 会員番号について

一部の先生から会員番号について問い合わせがきています。

会員番号は日本理学療法士協会と共通になっております。

会員カードに記載されている8桁の番号になります。

理学療法士免許の登録番号ではありません。

ここに記載されている8桁の番号です





途絶えることのないバトンを君に /

# リレーエッセイ

『リレーエッセイ』とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

## Part 40-1

上野原市立病院 澤田 誠

身延山病院の鈴木由美先生からご紹介いただきました、上野原市立病院の澤田誠です。

山梨県の最東部に位置する上野原市をご紹介します。まずはなんとといっても9月に国道20号線を夜間通行止めにして開催される牛倉神社例大祭の神輿巡業！国道20号線を10基以上の神輿が練り歩き、見物に多くの人

が集まり、道路いっぱい人があふれる圧巻のお祭りです。続いてもう一つ上野原といえば、生地に練りこんだ酒粕がほのかに香る酒まんじゅうです。中身のあんこはもちろん甘めのみそから変わり種の鮭入り（「ととまん」といいます。）などもあります。創業120年を超える老舗もあり、それぞれのお店で違う味わいを楽しむことができます。是非、ご賞味ください。コロナ禍で今年も神輿巡業は難しそうですが、一度上野原市へ神輿巡業と酒まんじゅうを楽しみにいらしてください。

今回は上野原市内の介護老人保健施設みのりの里の渡辺格先生にバトンをつなぎます。



## 原稿を募集しています！

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

● 問い合わせ先：広報局 会報部 宇月正明  
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院  
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366  
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※ 第159号発行は、2022年3月を予定しています。

原稿の締め切りは

**1月中旬です。**

リレーエッセイ

## Part 40-2

石和共立病院 浅井 敬太



健康科学大学 坂本祐太先生よりバトンを引き継いだ浅井です。

このリレーエッセイを書いている2021年7月23日、東京にて57年ぶりとなる東京オリンピックが開催されました。それに先駆け、山梨県でも聖火リレーが6月26・27日各市町村を巡りました。その聖火ランナーに私の家族が選ばれており26日には、沿道にて家族みんなで声援を送りました。無事聖火をつなぐことができ、家族共々安堵と開催への期待を胸に抱きました。写真は聖火リレーあとに取ったトーチを持たせてもらった時のものです。今回の東京オリンピックはコロナ禍にて1年の開催延長や、緊急事態宣言下での強行開催などオリンピックの開催には賛否両論あるなかでの開始となりました。医療者である自身としては、開催に反対する気持ちも理解できますが、東京オリンピックがコロナや感染症に打ち勝つ契機になり、成功することを願っています。ニッポンガンバレ！

次回リレーエッセイをつなぐ方はNAC湯村の長沼大先生です。

## 編集後記



7月の熱海土石流災害にてお亡くなりになられた方に心よりご冥福のお祈りを、また被災された方へ心よりお見舞いを申し上げます。そして全ての医療・福祉に従事している方々と、お忙しい中、快く執筆をしていただいた諸先生方に感謝申し上げます。

さて今年4月、科学技術・イノベーション基本法が施行。第3次AIブームもあり、実社会の様々なシステムにAIを実装。AIと聞いて思い出すのは学生時代読んだ、医歯薬出版第4版「基礎運動学」の「運動学習」。川人光男先生の「小脳のフィードバック誤差学習」模式図。働き始めてもしばらくは、医学的模式図だと思っていたら、工学的的模式図だし、計算論的神経科学だし。川人先生は物理学分野。現ATR 脳情報研究所所長。実はこの頃から理学療法士が読む教科書に、AI用語が出現していたことに10年くらい前、恥ずかしながら気づきました。

また会報誌発行の際には引き続きご協力お願いいたします。

宇月 正明

- 【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会
- 【代表】 磯野 賢
- 【企画・校正】 宇月 正明 古澤 淳一 進藤 圭一郎 立澤 俊貴 一瀬 智之
- 【編集・印刷】 株式会社 たけまる
- 【会報部】 〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436  
医療法人 景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院  
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366  
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



